

全建事発第 101号  
平成20年11月28日

各都道府県建設業協会会長 殿

社団法人 全国建設業協会  
会長 浅沼健一  
〔 公 印 省 略 〕

### リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について

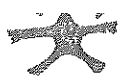
標記について、これまでも連絡してまいりましたが、このたび、国土交通省より別紙の建設機械についてリコールの届出がなされた旨通知がありました。

つきましては、建設作業現場において当該建設機械を使用する際は十分注意し、事故防止に配慮いただきますよう貴会会員に対し、周知方よろしくお願いいたします。

なお、添付の説明図が見つらい場合は下記ホームページアドレスにある図をご利用ください。

[http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall08/recall\\_.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall08/recall_.html)

以 上



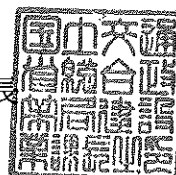
国総施第92号  
 国総建第229号  
 国総建振第172号  
 平成20年11月12日

社団法人  
 全国建設業協会 会長 殿

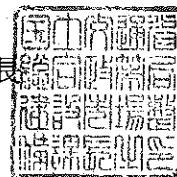
国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設市場整備課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

- 1. 届 出 日 別紙のとおり
- 2. 届 出 者 〃
- 3. 建 設 機 械 名 〃
- 4. 通 称 名 〃
- 5. 型 式 〃
- 6. 不具合の部位 〃
- 7. 内 容 〃

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。  
 アドレスは下記のとおりです。

国土交通省自動車交通局関係 [http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall108/recall\\_.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall108/recall_.html)  
 環境省水・大気環境局関係 [http://www.env.go.jp/air/car/tokutei\\_law/kaizen.html](http://www.env.go.jp/air/car/tokutei_law/kaizen.html)

## 建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成20年10月分)

※国土交通省自動車交通局関係

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成20年10月16日	株式会社タダノ	クレーン用台車	SD-T002、SD-EW04、SD-EW05	CREVO160、RK160-5	緩衝装置(スライドプレート)	229台

※詳細は別添の「リコール届出一覧表」を参照して下さい。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室  
 TEL: 03-5253-8111 内線 42353  
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

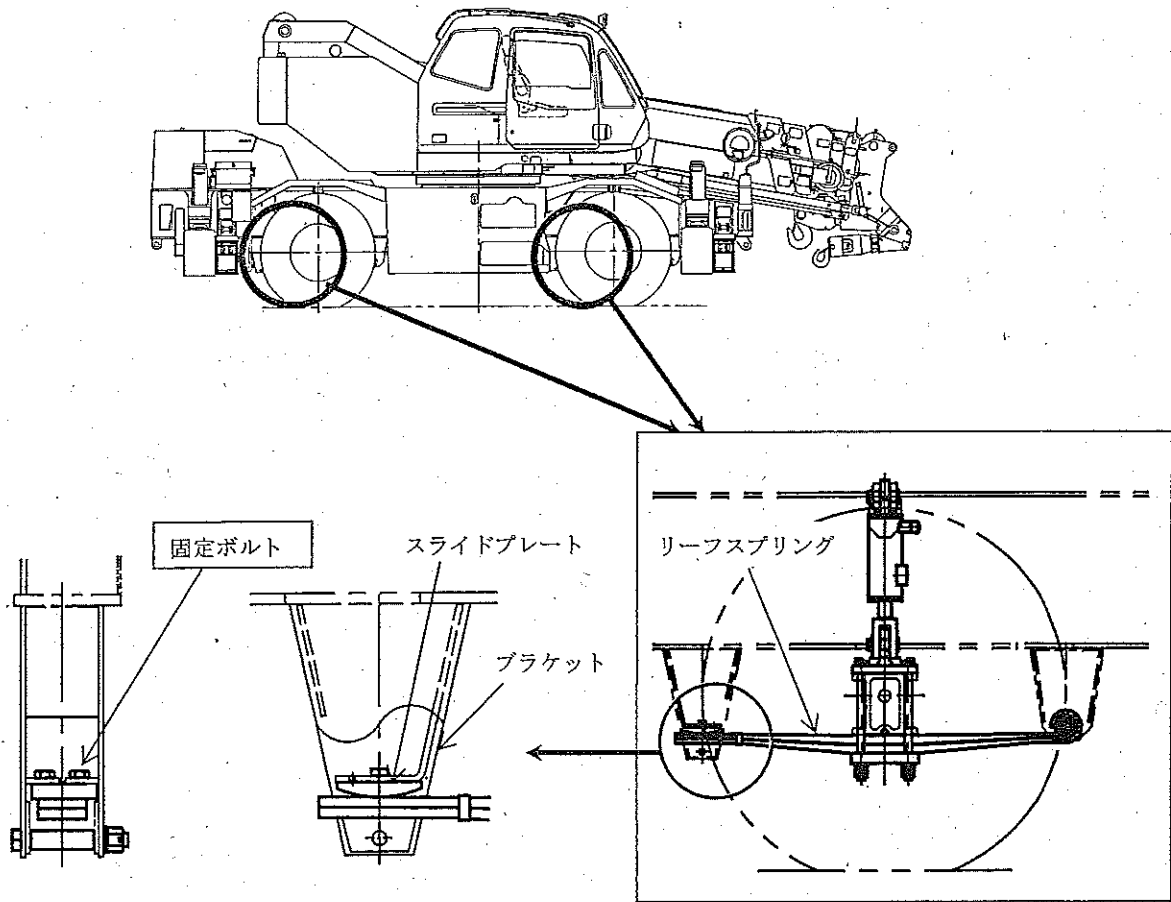
リコール届出日：平成20年10月16日

リコール届出番号	2201	リコール開始日	平成20年10月16日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一 問い合わせ先：品質安全部 TEL (087) 894-7550		
不具合の部位（部品名）	緩衝装置（スライドプレート）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	緩衝装置のリーフスプリング端部を支えるスライドプレートにおいて、固定ボルトのネジロック剤塗布量が不足しているものがある。そのため、当該ボルトが緩み、最悪の場合スライドプレートが脱落するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ネジロック剤を正規量塗布した新品のボルトに交換する。また、スライドプレートが脱落している場合は新品を取り付ける。		
不具合件数	国内：6件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：使用者を直接訪問またはダイレクトメールにて通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：全使用者を把握しているため、周知のための措置は取らない。</li> <li>・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に No. 2201 のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
タダノ	SD-T002	CREVO160	T002-0001～T002-0183 平成16年7月16日～平成19年1月16日	175台	
		—	T002-0053～T002-0182 平成17年3月8日～平成20年8月22日	5台	
コベルコ	SD-EW04	RK160-5	T002-5001～T002-5032 平成16年12月24日～平成18年3月31日	32台	
	SD-EW05		T002-5033～T002-5049 平成18年3月31日～平成18年11月30日	17台	
	(計3型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年7月16日～平成20年8月22日	(計229台)	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

## 改善箇所説明図



### 基準不適合箇所

緩衝装置のリーフスプリング端部を支えるスライドプレートにおいて、固定ボルトのネジロック剤塗布量が不足しているものがある。そのため、当該ボルトが緩み、最悪の場合スライドプレートが脱落するおそれがある。

#### 改善内容

全車両、ネジロック剤を正規量塗布した新品のボルトに交換する。また、スライドプレートが脱落している場合は新品を取り付ける。

識別：ブラケット側面に白色ペイントを塗布する。

注：  は交換部品を示す。

## 建設機械に係わるリコール届出一覧（期間：平成20年10月分〔小数台数の届出〕）

※国土交通省自動車交通関係

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成20年10月1日	コマツユーティリティ株式会社	フォークリフト	-	SA-M222	作業装置	51台
2	平成20年10月9日	コベルコクレーン株式会社	クレーン用台車	RK-250-7	JDS-EE02	灯火	60台
3	平成20年10月16日	株式会社タダノ	クレーン用台車	ATF160G-5	-	かじ取り装置	23台
4	平成20年10月23日	株式会社豊田自動織機	フォークリフト	トヨタジェネオ	EBT-8FG25	燃料ホース	19台

※詳細は別添の「リコール届出一覧表」を参照して下さい。

対象機械は太線囲い部分

平成20年11月6日

少数台数のリコール届出の公表について (平成20年10月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成20年10月は7件の届出がありましたので、公表します。

1

1. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
10月 1日	2190	車名：小松 型式：SA-M222 他 通称名：-	51	平成19年 7月16日～ 平成19年 7月31日
不具合の部位等	作業装置（マスト）と車体を連結するティルトシリンダにおいて、取付けボルトの締付け力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると当該ボルトが緩み、最悪の場合連結部が外れ走行に支障をきたすおそれがある。			

2. 届出者：日産トレーディング株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
10月 1日	外1515	車名：ルノー 型式：ABA-MF4R2 通称名：メガーヌRS2.0	13	平成19年12月12日～ 平成20年 1月21日
不具合の部位等	製造工程において、前席座席ベルト巻き取り装置の取り付けボルトにシーリング剤が付着したものがある。そのため、使用過程において当該ボルトが緩み、最悪の場合、衝突時等に座席ベルトが正しく乗員を保護できないおそれがある。			

2

3. 届出者：コベルコクレーン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
10月 9日	2194	車名：コベルコ 型式：JDS-EE02 通称名：RK250-7	60	平成20年 6月11日～ 平成20年 9月23日
不具合の部位等	クレーン作業中に使用する灯火（白色、300cd以上）において、運転者席で点灯状態を確認する装置が備えられていない。			

## 4. 届出者：株式会社タダノ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
10月16日	外1525	車名：FAUN 型式：不明 通称名：ATF160G-5 他	23	平成18年 3月24日～ 平成20年 7月14日
不具合の部位等		<p>①かじ取装置の第1軸操舵用ステアリングレバー支点ピンにおいて、疲労強度が不足しているため、当該ピンに亀裂が入るものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ピンが折損し操舵不能となるおそれがある。</p> <p>②かじ取装置の第2軸操舵用ステアリングレバー支点ピンにおいて、角部の加工が不適切なため表面が粗いものがある。そのため、当該ピンの強度が低下するおそれがある。</p>		

## 5. 届出者：マツダ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
10月23日	2202	車名：マツダ 型式：CBA-GH5AW 他 通称名：アテンザ	88	平成20年 2月 6日～ 平成20年 2月26日
不具合の部位等		<p>ルーフレール付ワゴン車において、左ルーフレールの取付部の溶接が不十分なため、当該取付部付近の防水シール材が剥離したものがある。そのため、雨水等が車室内のボディ制御コンピュータに浸入し、電動ドアロックや方向指示器等が作動しなくなるおそれがある。</p>		

## 6. 届出者：株式会社豊田自動織機

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	燃費	製作期間
10月23日	2204	車名：トヨタ 型式：EBT-8FG25 他 通称名：トヨタジェネオ 他	19	平成20年 5月12日～ 平成20年 9月 4日
不具合の部位等		<p>エンジン式フォークリフトのLPG仕様車において、燃料ホースの内層ゴムに、融合不良のものがある。このため、LPGがもれるおそれがある。</p>		

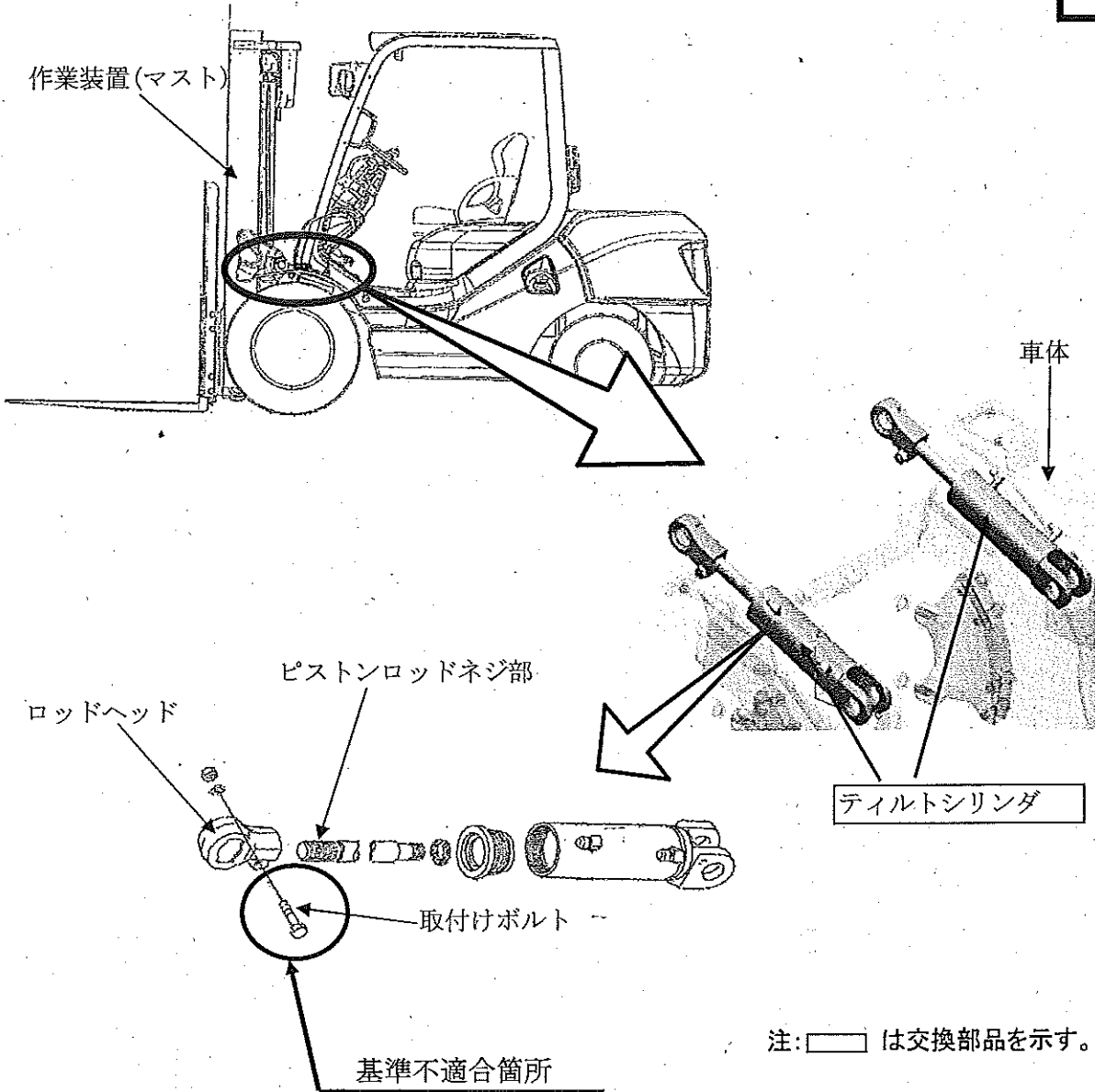
## 【参考】平成20年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	15件	10件	5件
輸入車	7件	5件	2件
計	22件	15件	7件

※リコール届出番号 2199 は公表済みのため、本公表には含まれていません。



# 改善箇所説明図



作業装置(マスト)と車体を連結するティルトシリンダにおいて、取付けボルトの締付け力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると当該ボルトが緩み、最悪の場合連結部が外れ走行に支障をきたすおそれがある。

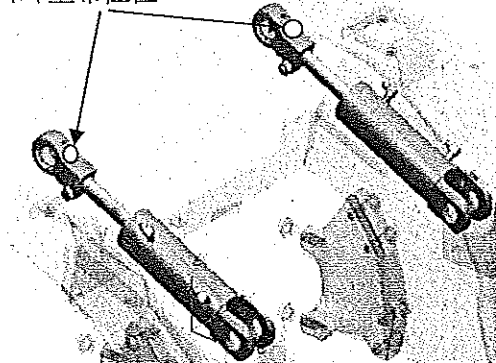
## 改善の内容

全車両、当該ボルトの締付け力を点検し、不足しているものはティルトシリンダの長さを調整し、正規の締付け力で直す。  
また当該ティルトシリンダロッドのネジ部に損傷がある場合はシリンダを新品と交換する。

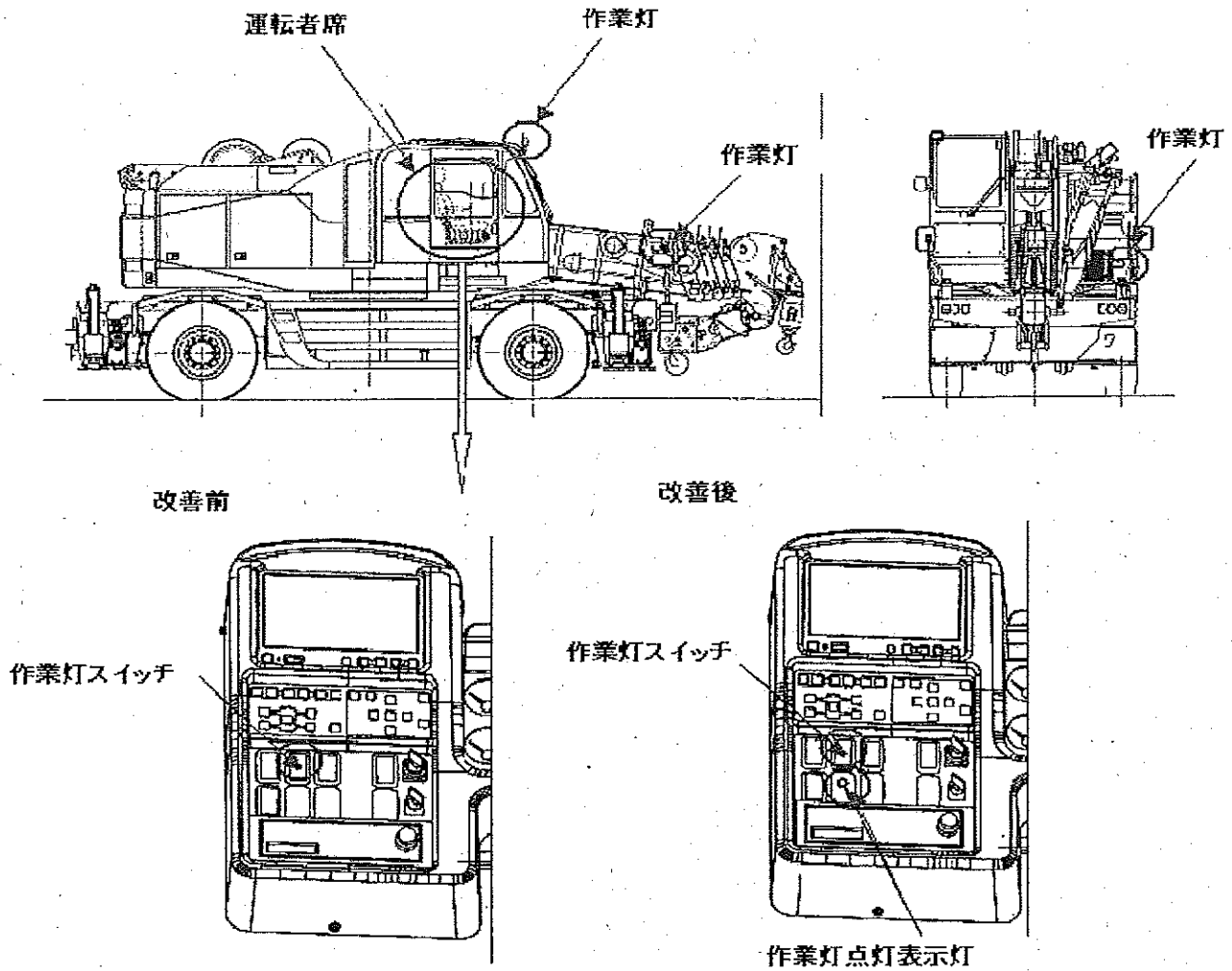
## 識別

ロッドヘッドの上面に白色ペイントを塗布する。

## 白色ペイント塗布位置



## 改善箇所説明図



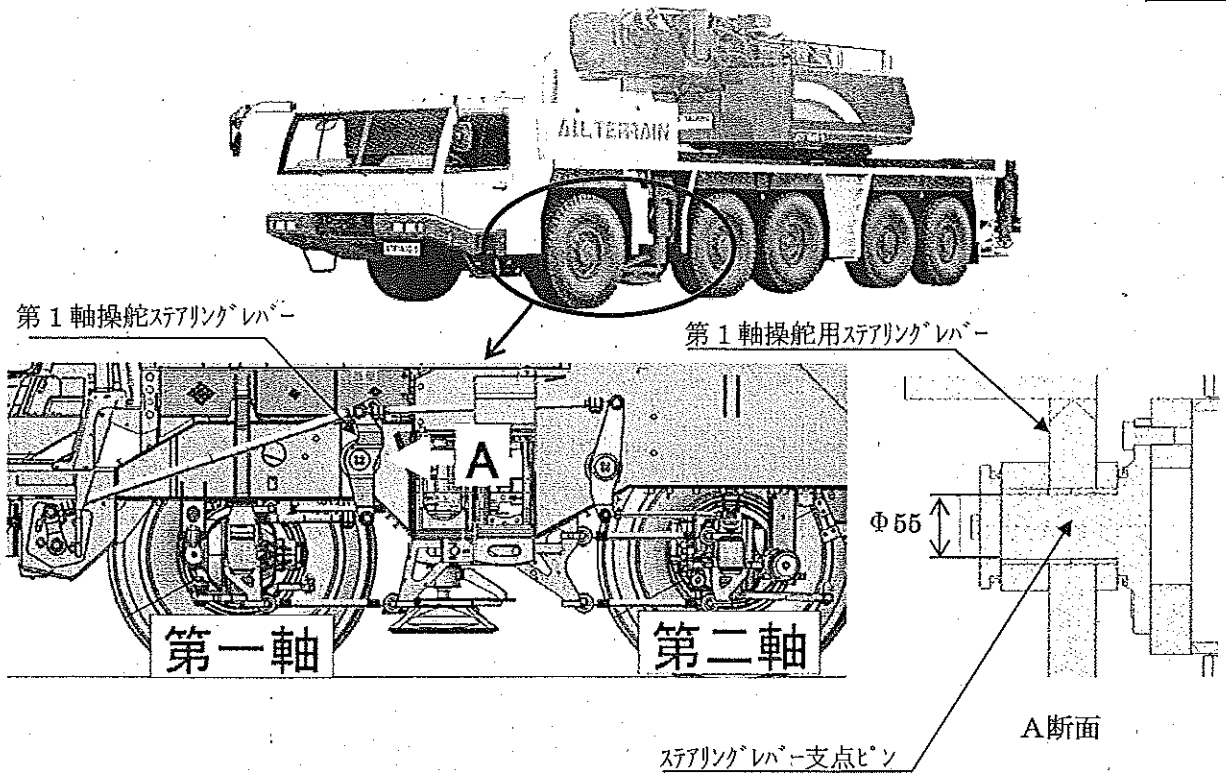
## 不具合の内容

クレーン作業中に使用する灯火（白色、300cd以上）において、運転者席で点灯状態を確認する装置が備えられていない。

## 改善の内容

全車両、運転者席で点灯を確認できる装置（パイロットランプ）を取付ける。

識別：外観上、点灯状態を確認できる装置（パイロットランプ）の有無にて容易に識別が可能のため、特別な識別の追加は行わない。

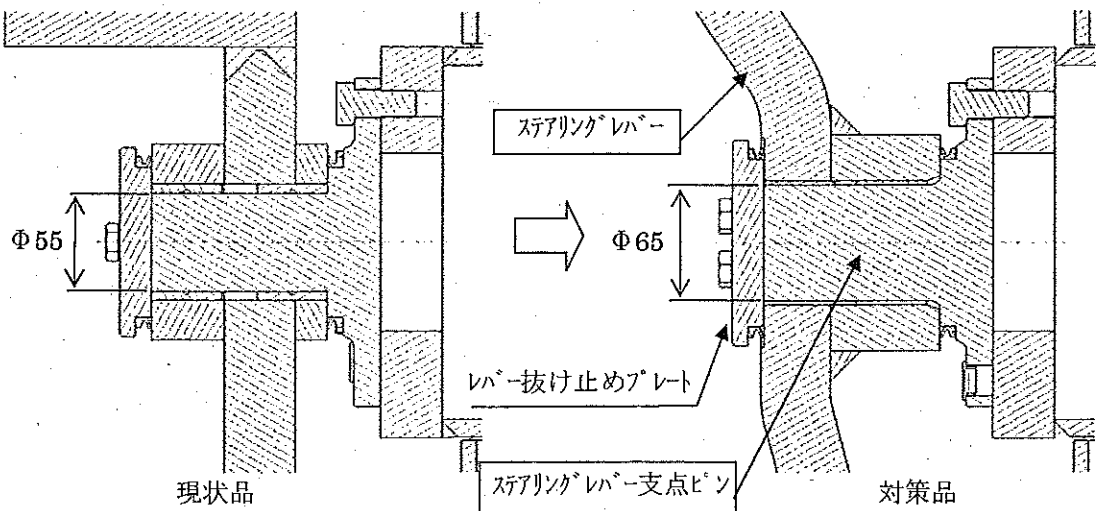


基準不適合箇所

かじ取装置の第1軸操舵用ステアリングレバー支点ピンにおいて、疲労強度が不足しているため、当該ピンに亀裂が入るものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ピンが折損し操舵不能となるおそれがある。

改善内容

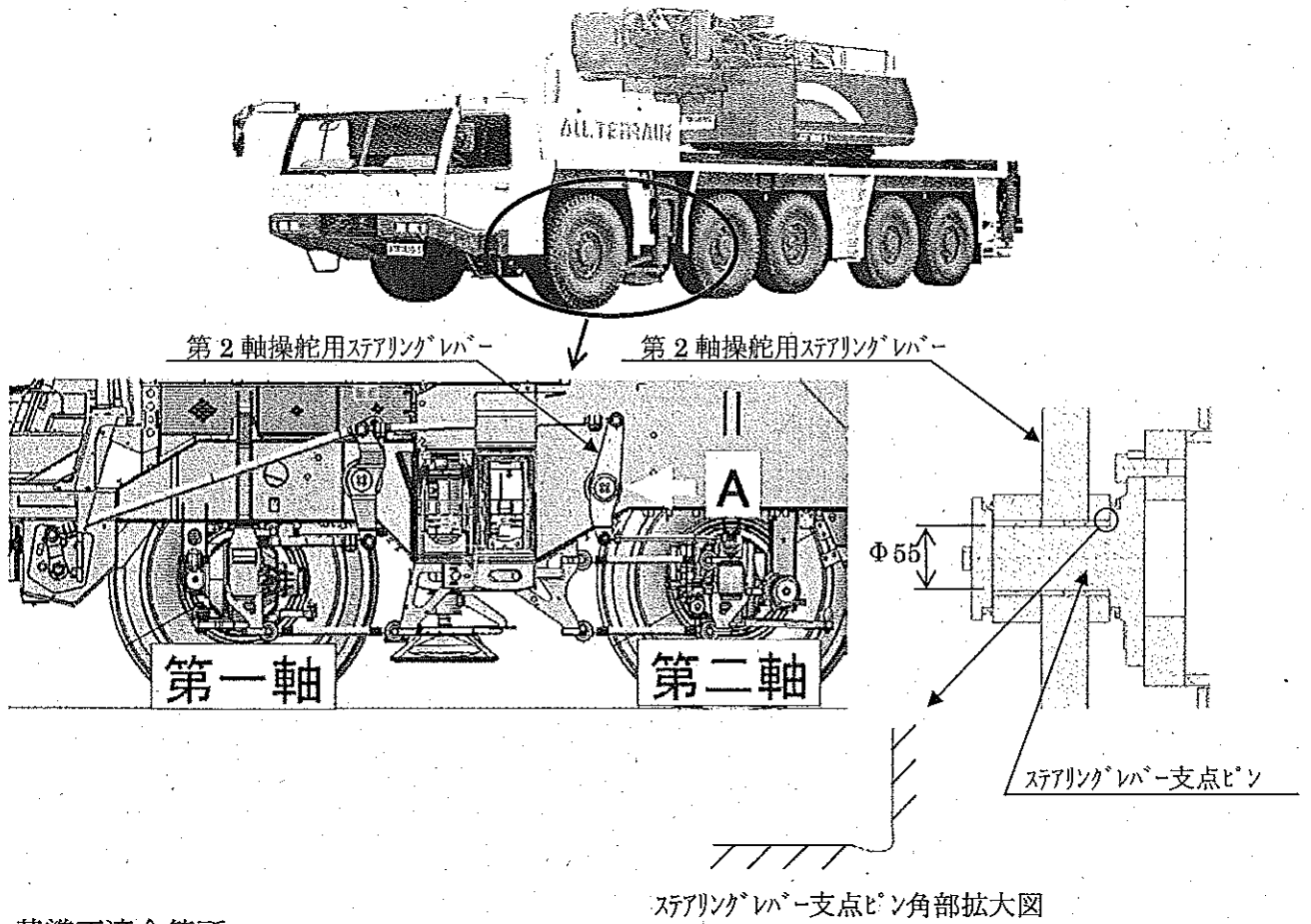
全車両、第1軸操舵用ステアリングレバーと支点ピンを対策品に交換する。



識別：レバー抜け止めプレートに白色ペイントを塗布する。

□ は交換部品を示す

改善箇所説明図 ②

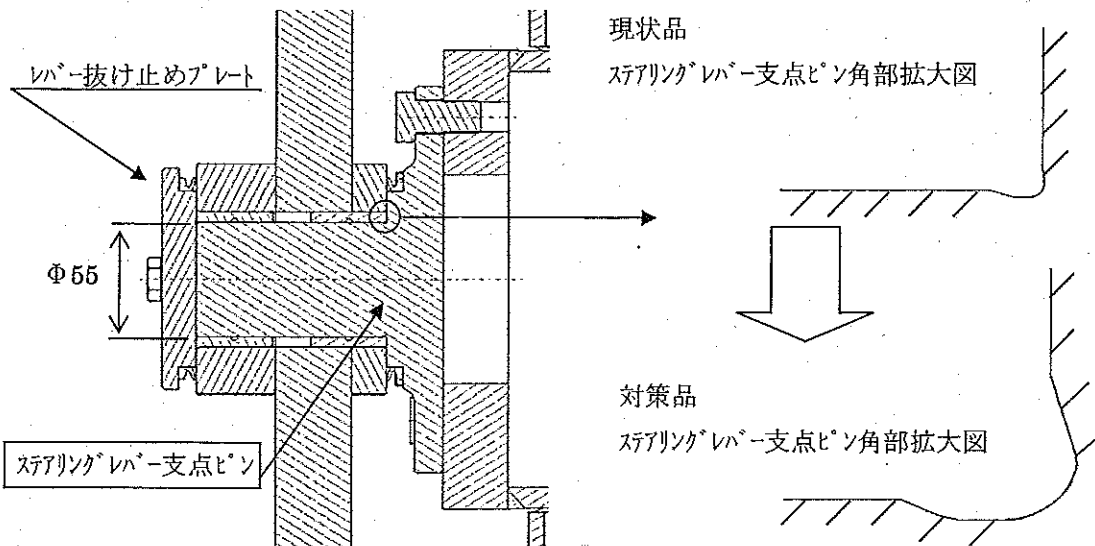


基準不適合箇所

かじ取装置の第2軸操舵用ステアリングレバー支点ピンにおいて、角部の加工が不適切なため表面が粗いものがある。そのため、当該ピンの強度が低下するおそれがある。

改善内容

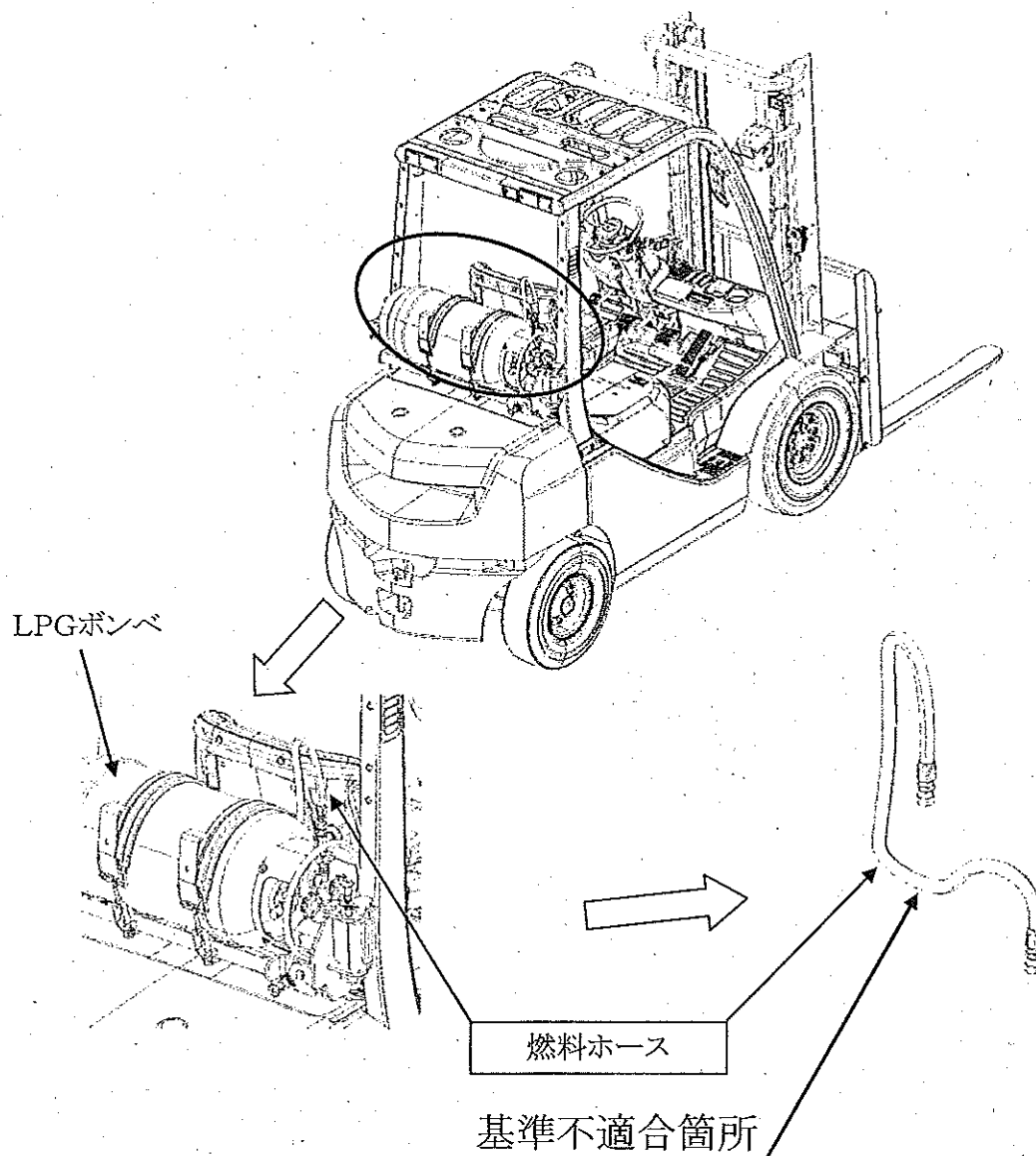
全車両、第2軸操舵用ステアリングレバー支点ピンを対策品に交換する。



識別：レバー抜け止めプレートに白色ペイントを塗布する。

□ は交換部品を示す

## 改善箇所説明図



エンジン式フォークリフトのLPG仕様車において、燃料ホースの内層ゴムに融合不良のものがあ。このため、LPGがもれるおそれがある

## 改善の内容

全車両、燃料ホースのロット番号を確認し、不良ロット品については、良品に交換する。

注：□内は交換部品を示す。

識別：黄色のペイントを燃料ホースの口金部に塗布する。